

Q9 社会人になって変わったことは？

- A：朝が早いことや、満員電車に乗って通勤しているときに社会人になったんだなと感じます。
- E：社会人になっても意外に自分の時間はあると感じますが、疲れて帰るとすぐ寝てしまうようになったのは変わったなと思います。休日も寝て過ごすことが多いので、社会人になっても時間をかけて趣味を楽しめる人はすごいなと思います。
- T：一番は生活習慣です。学生時代は朝に寝て夜に起きたりといったことを平気でしていましたが、社会人になると早寝早起きしないとダメです。休日は飲みに行ったり、銭湯・サウナに行ったり、1日ゴロゴロすることもあります。
- B：休みの嬉しさが増えて、次の休み何しようとかよく考えるようになりました。お金の管理により気をつかうようになりました。

Q10 受験生にメッセージをお願いします！

- A：民間の就活よりも決まるのが遅く今が一番不安な時期だとは思いますが、勉強してきた時間は裏切らないので今はひたすら勉強を頑張ってください！応援しています。
- E：しんどいことも多いと思うけど、後悔のない就職活動ができるように祈っています！適度に息抜きしながら頑張ってください！
- T：就活はつらいと思います。ですが案外なんとかなるものなので、あまり不安になりすぎず頑張ってください。
- B：試験は長くつらい時もあると思いますが、諦めずにやり遂げれば結果はついてくると思います！いろんな官庁を見て、後悔のない選択をしてください！



広島地検でお待ちしています◎

令和5年度新規採用職員（大卒）インタビュー



Q1 今の業務内容は？

- A：総務課の庶務係に在籍しています。職員の勤務管理をはじめ、郵便受理・発送業務や電話対応を主に行っています。
- E：会計課の国有財産係というところにいる。公務員用の宿舍の管理や、庁舎の点検などを担当しています。
- T：検務の徴収担当です。罰金の納付告知書を作成したり、裁判結果をシステムに登録したりする仕事をしています。
- B：私は人事課の人事第一係の所属です。主に職員の採用や異動、退職に関すること、人事記録の作成などの仕事をしています。

Q2 検察事務官を目指したきっかけは？

- A：親族が事務官だったこともあり興味を持ちました。大学では法律を学び、そのうち本格的に目指すようになりました。もともと正義感が強く、探究心も強かったので向いているのではないかと考えています。
- E：たまたま受けた説明会で、楽しそうな仕事だと思ったからです。
- T：大学の先輩が検察事務官になったことでその存在を知り、仕事が面白そうだなと思って志望しました。
- B：大学で法律を学び、法律に関わる仕事に就きたいと考えていて、やりがいのある仕事だなと感じたからです。

Q3 どうして広島地検を選んだ？

- A：地元が広島で、説明会の雰囲気もとてもよかったので目指していました。また最初の内々定をいただいたのが広島地検だったので決めました。
- E：出身は他県なのですが、大学進学を機に来た広島が好きになり、ここで就職したいと思ったからです。
- T：正直、他官庁との迷いもあったけど、最初の内々定が出たので広島地検に決めました。
- B：四国出身ですが、広島で就職したいと考えていたからです。

Q4 入庁前後でギャップは感じた？

- A：今の仕事は直接的に事件や捜査に関わることはないのですが、自分が担当している業務も検察業務には欠かせない仕事だと感じています。
- E：広島地検主催の説明会にはほぼ参加していたので特にありませんでした。強いと言うなら、主な研修は入庁後すぐではなく1か月ほど経ってから行われるため、1週目から仕事をするようになるとは思っていませんでした(笑)。
- T：初日からいろいろ仕事をさせてもらえるので、いきなりだなと、学生時代や春休みとの気持ちのギャップは感じました。
- B：仕事ができるのかとても不安でしたが、思った以上に話しかけてくださって、相談しやすい雰囲気が働きやすいなと感じました。



Q5 試験に向けた情報収集や面接対策はどうだった？

- A：自主的に広島地検のホームページを見て説明会等々の情報を見逃さないようにしていました。参加できる説明会は全て行くようにしていました。面接対策については、大学の教授に見てもらったり、一日中公務員志望の友人たちと大学で模擬面接を行っていました。
- T：大学で公務員講座を受講していたので、面接対策は講師の言うことを聞いていました。情報収集は頻繁にホームページを眺めて、説明会に参加するのが一番だと思います。
- B：面接練習は公務員講座を利用したり、就職支援をしている機関に行ったりしてなるべくいろんな人に見てもらおうようにしていました。

ある日の1日のスケジュール

検務部門（徴収）

- 7：50 出勤・準備
8：30 確定した裁判をシステムに入力
10：30 照会書の作成・返送された照会情報をシステムに入力
12：00 休憩
13：00 罰金を納付するための納付告知書の作成・発送
15：00 新規に発付された略式命令の命令登録 次の日の準備
17：00 整理・片付け
17：15 退勤

事務局部門（庶務）

- 8：00 出勤
新聞を各課に配る、掃除など
8：30 電話交換業務スタート
10：00 休暇簿の処理
11：00 届いた郵便を受理して各課に届ける
12：00 昼休憩（交代で電話の昼当番あり）
13：00 休暇簿の処理を進める
14：00 郵便発送業務
16：00 切手の管理、データ入力など
17：15 翌日の準備をして退庁

Q6 学生時代やっておいてよかったこと、やっておけばよかったことは？

- A：語学の勉強です。独学ですがコロナ渦で韓国語の習得に力を入れていました。社会人になつたらなかなか勉強できる機会がないので、学生のうちに語学に触れておいてよかったと思いました。
- B：部活やサークル、アルバイトなど様々な人と関わることや、そこでしかできない貴重な経験をしていたことが面接や面接カード等に生かされたのが良かったです。もっとパソコンについて知っておけばよかったなと思います。あとはしっかり学生のうちに遊んでおいたらいいと思います！

Q7 業務説明会に参加するメリットは？

- E：担当者に顔を覚えてもらえることが一番だと思います。僕が覚えてもらっていたかは分かりません(笑)。参加する回数が多いことは、直接志望度が高いと思ってもらえることに繋がるので、参加できる説明会にはほとんど参加していました。
- T：仕事内容はもちろんですが、検察庁や働いている人の雰囲気を知ることができるのが一番のメリットだと思います。また自分を売り込む場にもなると思います。

Q8 受験時のモチベーションの上げ方は？

- A：次の模試で目標点を取れたら欲しかったものを買うと決めたり、一定の時間勉強したら好きなアーティストのDVDを見たりしてモチベをあげていました。
- E：好きな音楽を聞いたり、好きな漫画を読んだりしてモチベーションを保っていました。また、ストレスを感じたらご飯を食べていました（そのせいで受験期に10kg太りました）。
- T：飲み物を飲むのが好きなので、勉強中だけ飲み物を飲んでいいというルールを作っていました。
- B：自分の好きなことをする時間を必ず確保していました。就活が終わったらしたいことを考えてよく友達と話していました。